

Process

1人ひとりの人生を豊かに
1日1日を丁寧に積み重ねる



グループでのイベント

ホテルの集い（6/1）

毎年6月に行われるほたるの集いは、エデュケアライズグループ最大のイベントです。焼きそばやフランクフルト射的や輪投げなどのお店もたくさん出店し、グループ施設の各施設の趣向を凝らした発表やゲストパフォーマンスと内容も盛りだくさんなイベントです。フィナーレには藹藹会のハートフィールドで育った、たくさんのほたるたちが盛大に飛び立ちます。2024年は、過去最高の1500人を超えるお客様が来てくださりました。来年は、6月7日（土）に開催予定です。是非皆様のご来場、お待ちしております。



グループでのイベント

チャリティーコンサート

ERGP

～持続可能な笑顔のために～

第35回チャリティーコンサートを宇都宮市文化会館小ホールで行いました。「ERGP(エデュケアライズグループ)～持続可能な笑顔のために～」をテーマに、子どもから大人まで、笑顔になれる歌や合奏などを発表しました。ゲストにピアニストのハクエイ・キムさん、フルート奏者の酒井麻生代さんを迎え、ディズニーメロディーを演奏していただきました。子どもたちも利用者さんも保護者の方も職員も笑顔の絶えないコンサートになりました。



グループでのイベント

グループ視察

2024年度より、職員がEducarealize Groupのそれぞれの事業や職員のコミュニケーションをさらなる活性化、また良い取り組みを横展開を目的に月1度グループ視察という機会を設けております。普段話さないグループ職員とも良いコミュニケーションの良いきっかけとなる研修です。来年度も実施していく予定です。



【参加した職員の声・感想】

- 他の施設職員と話しをしたり、情報を交換し、コミュニケーションをはかれ良い一日でした。
- 人と人との繋がりが新しいアイデアや仕事を生み、きっかけとなり様々なことが発展していくのだということを実感しました。
- 車中や食事中も楽しく過ごせてこのような機会に感謝しています。
- 事業の背景、歴史、今後の展望などを聞けるお話を聞ける貴重な機会でした。
- ただ時間を過ごすのではなく、有意義に過ごせるようどの施設も考えられているのだと改めて思いました。
- どんなことを行っているのか知らない施設もあったため、知る機会ができてよかったです。

地域連携

Educarealize Groupは、前年度からも地元のスポーツチームを応援する活動をしており、栃木ゴールデンブレーブス（野球）、日光アイスバックス（アイスホッケー）のスポンサーを行っていましたが、今年度より新たに栃木SC（サッカー）、栃木ブレックス（バスケットボール）、宇都宮ブリッツェン（競輪）、宇都宮Voet's（ラグビー）のスポンサーになりました。更に宇都宮大学準硬式野球部のメインスポンサーにもなりましたことをご知らせします。大学の部活動へスポンサーは、稀ですが、宇都宮大学準硬式野球部の「練習や試合も楽しくをモットーに」というのにコンセプトに共感し、地域貢献及びスポーツから得られるチームづくりを学びつつ、私たちが目指す地域社会に新しい価値を見出し、新たな社会課題解決に活かして欲しいと思います。これらの活動を機にフードバンクうつのみや様とも食材寄付を頂くなど、少しずつ活動の成果が出てきた2024年度になりました。

さらに栃木県の「サービス管理責任者等更新研修事業者」の対面会場に指定されました。宮城県を中心に研修事業を展開している「東北福祉カレッジ」と連携しました。サービス管理責任者等研修とは、障害福祉サービスの指定基準において配置が義務付けられている「サービス管理責任者（サビ管）」あるいは「児童発達支援管理責任者（児発管）」※になるために必修とされている研修であり、基礎研修、実践研修、更新研修の三段階に分かれます。そのうち「更新研修」、5年ごとの定期的な受講が必要となります。今後ますます栃木県内の研修体制の強化や行政との連携を行い、成長してまいります。



Gallery





プロセスがあって
はじめて実績が伴う。

サービス 活動外の 活動実績

(2022年4月～2024年12月)

執筆について

2024年6月

「そのまま使える〈スッキリ
図解〉介護・障害福祉BCP作
成ガイド」

寄稿について

2024年6月・12月

「医療機関との連携がこれから
生き残るキーワード」
「なくてはならない施設」に向
けて5つの視点で戦略を」
介護ビジョン（日本医療企画）

講演について

2024年4月

「激動の介護報酬改定24」 栃
木市コミュニティ研究会

2024年6月

「地域一番化のための学園経
営セミナー」 株式会社GCLIP

2024年10月・2025年1月

「介護事業所向け千参性向上研
修」 セントスタッフ株式会社

2024年11月

「特養・デイ・ショートの稼働率
アップ・経営改善に関する手法」
株式会社 エム・エム・ピー・ジー総研

2024年4月・11月

「障害福祉等サービス報酬改定」
「外国人採用の活用事例」
C-MAS介護事業経営研究会
株式会社実務経営サービス

**株式会社エクサホームケア
年間25回講演実施**

介護事業者に向けて延べ20000人を超
える参加者にセミナー講師として実施。

その他地域活動

2024年7月

こどもまんなかアクション
ファクトブックに掲載

こども
まんなか

アクション

—ファクトブック—

2024年第1版
令和6（2024）年7月

こどもまんなか
こども家庭庁

2025年1月

とちぎテレビ放映
「フリースクールDream Tree」

Special

Future Grip5周年 謝恩セミナー

2025年1月10日（金）に宇都宮駅のマイステイズ宇都宮にてEducarealize Groupの1つの法人であるFuture Grip Labは創立5周年の節目に謝恩セミナー&祝賀会を実施いたしました。日頃からお世話になっております、70名の経営者の方にご参加いただきました。セミナーのゲスト講師は、医療法人社団 悠翔会 佐々木 淳 理事長、仙台育英高校 硬式野球部監督 須江 航 先生をお迎えしました。

セミナーの内容は、【いまFGに関わってくださった方に1番聞いてほしい内容とゲスト講師でお迎えします】にふさわしい内容だったと感じます。完全招待制で行ったものですが、参加された方からは多くのお褒めお言葉をいただき、開催してよかったと心から思える日でした。講演内容の中で、「自分は自分でしか変えることはできない。だからこそ、まずは1ミリ動かす」ということが印象的でした。

Future Grip が関わらせていただいている介護福祉業界を数字だけでみると、未来に明るい兆しは見えにくいものです。しかし数字の裏側を見れば、環境を丁寧に整え、絶えず磨き続けている介護福祉施設の未来は、やはり、明るいものだとも私たちは考えています。

是非、利用者、地域社会にとって、働く職員にとって素敵な未来を経営者の皆さんがつくっていただければ幸いです。さて次の5年もそんな皆さんを全力で応援したいと思っております。

ちなみにこの日にFuture Gripクルーは青のオーダーメイドスーツを着用。ご参加された方からも大好評でした！



Challenge

新事業・新しい取り組みについて



2025年度も、グループとして「地域社会に新しい価値を見出す」というコンセプトを体現するため、さまざまな挑戦をしていきます。その理由は、地域社会にはまだ多くの課題や困りごとがあり、私たちの存在を必要とくださる皆様の期待に応えたいと考えているからです。2025年度は、以下の4点を実行していきます。

① 株式会社メディカルグリーンのグループ傘下入り

栃木市・真岡市を拠点とする同社が運営する「介護付き有料老人ホーム みどり」および、小規模保育事業A型3園の計4拠点が、Educarealize Groupの仲間に加わります。私たちも栃木市に事業を展開しており、また子育て支援事業との親和性が高いことから、新たなシナジーが生まれると確信しています。

② NPO法人 Hands-on-Handsの設立

「地域の子どもを地域で支える」「地域の課題を地域で解決する」ことを目的に、税制上の優遇措置を設けたNPO法人を設立します。Educarealize Groupの活動や想いに共感してくださる企業・個人の方々を対象に寄付金窓口を設置し、福祉事業の支援を進めます。また、県内の介護福祉事業の質の向上を目的とした第三者評価機関を、夏頃に立ち上げます。謁見会では障害福祉事業を実施し、Future Gripでは栃木県内でサービス管理責任者等の研修を毎月対面開催していることから、これらの活動の一環として進めていきます。

③ 児童分野の新事業展開

私たちは約50年間にわたり幼稚園や保育所を運営し、7,000人以上の卒園生とともに歩んできました。多様な子どもたちや保護者の皆様と悩みを共有する中で、0～6歳の障がいのある園児について、これまで外部機関に支援を依頼してきました。しかし、より多くの関係性の中で社会性を育むことができないか、また、その子どもたちにとって最適な環境とは何かを考え続けてきました。その答えの一つとして、日本全国の事例を研究する中で、「幼稚園・保育園・認定こども園に、児童発達支援事業、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援を併設し、双方が緩やかに重なりながら日常を織りなす空間」という考えにたどり着きました。幼稚園・保育園を運営している私たちだからこそ、果たせる役割があると考えています。

④ グループのイメージ刷新

主に以下の施策を実施します。

・グループWEBサイトのリニューアル・職員の雰囲気や伝わるオウンドメディアのリリース・グループのアメニティや福利厚生の見直し
リニューアル後は、ぜひご覧ください！最後になりますが、今後もEducarealize Groupのご支援と読者の皆様の健康とご多幸をお祈りしております。

Challenge

グループの応援
ありがとうございました。

ご寄附へ感謝

2024年11月より、「エデュケアサポーターズ」という会員制度を開始しました。サポーターの皆さまには、ホームページへのお名前の掲載をはじめ、就労施設で生産された野菜のお届け、グループ行事へのご招待など、さまざまな企画や情報をお届けします。地域社会の課題を地域全体で支え合うことが、私たちの考える「やわらかい眼差しに包まれるコミュニティ」の実現につながると考えています。皆さまからの寄付金は、Educarealize Groupの現場を支えるさまざまなプログラムに活用させていただきます。2025年度は、会員数の増加を目指すとともに、個人・団体のサポーターの皆さまが税制上の優遇措置を受けられる体制を整えます。その一環として、NPO法人Hands-on-Handsを設立し、グループ法人への寄付について税額控除を受けられる仕組みを構築してまいります。



野口株式会社



IZAKAYA KITAROU

GCLIP

palisa



パン工房 若林

PAN KOUBOU WAKABAYASHI

宇都宮動物園
UTSUNOMIYA ZOO



フードバンク
うつのみや



上陽工業株式会社



KatagrMa

Fukuda
Healthy

株式会社フクダヘルシー



株式会社 生田目会計事務所

ミズノサト

有限会社アイヴィー保険センター



宇都宮動物園 / 株式会社フクダヘルシー / 株式会社ライフパートナーズ / 有限会社アイヴィー保険センター / 居酒屋 輝太郎
株式会社鹿沼市学校給食パン工房 / ミズノサト / 野口株式会社 / 上陽工業 株式会社 / 株式会社カタグルマ
株式会社GCLIP / パリサ合同会社 / 株式会社 生田目会計事務所 / カラオケハウスじゅんじゅん / 九津見 幸男

(順不同 敬称略)

地域の子育てを
地域で支える

エデュケア

と共に



グループサイト



ご不明な点は、下記までお願いいたします。
窓口法人：(一社)Future Grip研究所 担当：山村 樹
連絡先：itsuki.y@future-grip.com

地域で子供たちの未来を育み、
分かち合い地域社会を築く。



ご不明な点は、下記までお願いいたします。
窓口法人：(一社)Future Grip研究所 担当：山村 樹
連絡先：itsuki.y@future-grip.com

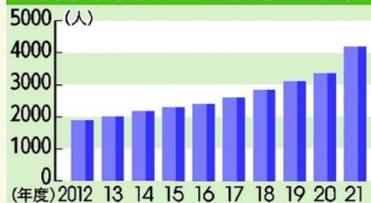
私たちの想い

私たちエデュケアライズグループでは、現在子どもたちや障害児者を対象にしたサービスを展開しています。そのなかで社会状況の変化から多くの課題を感じています。その一つ一つの解決が豊かな未来の地域社会を構成するうえでの大切なピースのように思います。誰一人子どもたちを取り残さない社会の実現、やわらかいまなざしに包まれる社会の実現に向けて、私たちFuture Grip Lab.は、若者が主体となり、地域社会の皆さまのご助言やご指導をいただきながら、活動してまいりたいと考えています。

私たちが掲げる社会課題

- 一、「子どもの貧困」をなくす支援の必要性（未来への投資）
- 二、不登校の子どもに居場所をつくる支援（多様な学びの場の提供）
- 三、障害者の社会参加の機会を増やす支援（社会の一員）
- 四、海外の子どもたちが日本にあこがれを持ち、特定技能外国人が増えるような支援（労働力の確保）

県内小中学校の不登校児童生徒数



相対的貧困率（全国）



Educare@lize Educare@lize

ご支援・サポートのお願い

地域と共に

こんな期待もできます！

- 本プロジェクトに参加することで！
1. 社会貢献企業のイメージアップ！
 2. 企業の広告媒体として活用することが可能！
 3. 障害者の社会参加をサポートできます！
 4. 不登校の子どもたちに居場所を提供！



1口
3万円～
ご寄付

寄付金は、Educare@lize Groupが今後も行っていく様々なプログラムに活用させていただきます。地域を支え、そして一緒に育てていくメンバーシップ制度です。サポーターの方には、以下の還元について実施していきます。詳細については、以下をご参照ください。

※今後、当グループへの寄付については、税額控除を受けることができるよう、準備しております。

▶ エデュケアライズサポーターズにご協力いただいた皆様へ

寄付することで

- 障害者の給料（工賃）アップに貢献します！
- 対象者のやりがいに繋がります！
- 企業イメージアップに繋がります！

オリジナルグループ
アメニティの配布！



季節の新鮮野菜を
年に2回お届け！



メディア（とちぎ発見Labo）
へのバナー掲載！



他にも寄付者へ以下の還元方法を実施してまいります！詳しくはお問い合わせください！

- Educare@lize Groupが各施設の入りに企業バナーを掲載
- Educare@lize Groupのグループサイト、各サイトにバナー掲載
- 表彰状の授与、年間活動報告書にお名前を記載
- 子ども・保護者向けの安心パスポートの発行
- 各種イベントへ招待
- ウェブサイトへインタビュー記事の掲載
- 企業勉強会の開催・活動報告会
- ボランティア活動・表彰式

▶ “エデュケアと共に”ご寄付の方法



銀行で

下記の講座でお受付しています。領収書をご希望される場合は、お問い合わせ欄からメールでご連絡ください。

足利銀行
本店営業部(普通)
5514391



遺産・不動産

土地や物品によるご支援をいただける場合は、お気軽にお電話、お問い合わせください。丁寧に対応させていただきます。



時間・ボランティア

金銭だけでなく、ボランティア活動も時間の寄付として私たちは考えております。ご希望の方はまずはお問い合わせください。

※今後は、個人会員対象始め、クレジットカード対応の準備を進めています。

社会課題の解決

現在、栃木県内だけで六千人を超える不登校児童生徒がおり、特に最近では小学校低学年において増加傾向にあります。社会の宝であるはずの子どもたちの不登校は増加傾向にありながら、有効な対策が見出せないことが課題となっています。また、子どもたちの約7人に1人が相対的貧困とされています。

活動に取り組む上での課題

仮に貧困に窮していると感じている人や、不登校であることに戸惑いや不安を感じている人がいても、そのことを自分の外側に出しにくい状況でもあります。

1. 障害者の就労において、工賃があまりにも安く、親亡き後の人生設計が成り立ちにくい
2. 日本を希望する特定技能外国人が減少傾向にあるのは、日本への期待や魅力が伝わっていないと考えられることから、海外の子どもたちが日本へのあこがれを持てる支援の必要性がある。

課題解決のために

1. エデュケアライズグループ全体でのこの取り組みへのバックアップ
2. 地域における企業様のご理解とご支援
 - 「安心パスポート」の発行、利用をしやすいように。
 - 本活動の趣旨にご賛同いただく企業様より寄付金を募ります。
 - 利用へつながら情報提供や声掛けの依頼を自治会長、民生委員へご案内します。

Gallery



地域社会に

新しい価値を生み出す

Educare^olize Group

